

湖頭

令和4年3月1日
富士市立須津小学校
学校だより（3月号）

やさしさいっぱい为学校

校長 望月 秀一

園芸委員会の子どもたちが植えたチューリップがすくすくと育っています。3月に入りました。いよいよ今年度の授業日数が14日となりました。振り返ってみますと、緊急事態宣言が発出され、夏休みの延長と9月の分散登校など、コロナ禍で教育活動が規模の縮小や中止等ですすめられ、この一年も新型コロナウイルス対応に追われました。このような中ですが、子どもたちはできることを精一杯頑張ろうと成長できた一年になりました。これも、保護者や地域の皆様には感染対策等のご理解とご協力の支えがあってこれまでやってこれたと感謝しています。ありがとうございました。来年度も、コロナへの感染対策に取り組みながら教育活動をすすめていくことが想定されます。本年同様によりしくお願いいたします。

2月14日に「委員会引継ぎ式」を行いました。本来ならば、全校児童の前で6年生から5年生へ引き継ぐ様子を下級生が見守る大切な式になります。コロナ禍で子どもたちへ伝えるためにどのようなやり方がいいか検討し、各委員会の代表が引き継ぎ、その様子を画像にとって、全校児童で視聴することにしました。6年生の委員長からは、一年間を振り返って、自分たちが取り組んできた活動について自信をもって伝える姿がとても頼もしく感じられました。それに対して、5年生は、緊張した表情ではありませんが、自分たちが引き継いでいく意気込みが伝わってきました。「やさしさと輝きあふれる須津小」を目指したいとの思いを実現してほしいと願っています。



25日には、「6年生ありがとうの会」を行いました。この一年、須津小のリーダーとして頑張ってきてくれた6年生の感謝の気持ちを伝えようと各学年がプレゼントしました。5年生が全体を運営し、オープニングは6年生への感謝の気持ちを歌にしたり、東京五輪で使用したピクトさんマークで6年生の活躍を表現したりして、とても温かな雰囲気です。2年生は、「かさこじぞう」「算数の九九」「すどたんけん」など、2年生の頃にタイムスリップして思い出してもらおうと取り組みました。3年生は、運動会のソーラン節で、力強く伸び伸びと踊る姿が良かったです。6年生はいつもみんなのお手本でしたと笑顔で伝えていました。4年生は、2分の1成人式やSDGsの取組をダンスも入れながら笑顔で表現しました。5年生は6年生から教えてもらった委員会活動をしっかり引き継ぎたいと各委員会から思いを伝えていました。来年度150周年を盛り上げますと力強いメッセージもありました。1年生は6年生に大変お世話になったと感謝の気持ちを金メダルに似顔絵を描いてプレゼントしました。「いただきへのはじまり」のダンスも元気よく楽しそうに踊って気持ちを体で表現していました。その後、5年生の企画で作られた全校のビデオメッセージがあり、どのクラスも笑顔がいっぱい溢れていて心が温かくなり、下級生の感謝の思いが映像いっぱい広がっていました。6年生から学校をきれいにしようと奉仕作業に合わせてメッセージがビデオで流されました。また、下級生が作ってくれた掲示物を嬉しそうに見ている姿が映し出され、見ていた下級生の心も温かくなり、須津小全体にやさしい心が広がりました。



私は相手のことを考えて一生懸命気持ちを込めて伝える姿に感動しました。6年生が学校全体や下級生のことを考えて日々取り組んでいること、そのことを下級生がしっかり受け止めて、感謝の気持ちを表そうとしている姿は、お互いを大切にする気持ちが生まれ、児童会が目指した「やさしさいっぱい須津小」に成長したと思います。6年生は卒業が間近に迫ってきました。下級生の思いを受け止め、一日一日を大切にして巣立ってほしいと願っています。5年生はここまでやり遂げた力を4月から須津小のリーダーとしての頑張りにつなげてほしいと思います。それを全校みんなで支えていければと思います。